

東北メディカル・メガバンク計画のデータベースを活用した認知症発症に及ぼす 外因性ストレスの影響と発症予防・共生のための統計学的疫学研究 に関するお知らせ

帝京大学薬学部および帝京大学医学部では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間：2020年4月21日 ～ 2025年3月31日

〔研究課題〕

東北メディカル・メガバンク計画のデータベースを活用した認知症発症に及ぼす外因性ストレスの影響と発症予防・共生のための統計学的疫学研究

〔研究目的〕

東北メディカル・メガバンク機構が提供するデータベースを活用し、認知症発症に及ぼす健康要因や生活習慣との関連、大震災のような大きなストレスが認知症の発症に及ぼす影響を明らかにするための統計学的疫学研究を行います。

〔研究意義〕

認知症は多くの人にとって身近なものとなっています。認知症の発症を遅らせ、認知症になっても希望を持って日常生活を過ごせる社会を目指し、認知症の人や家族の視点を重視しながら、「共生」と「予防」に取り組む必要があります。東北メディカル・メガバンク機構からの情報と解析結果を利用すれば、認知症との新しい「共生」、「予防」を目指した提言、施策を作成するための信頼度の高いデータを得られるものと期待されます。

〔対象・研究方法〕

東北メディカル・メガバンク機構から順次利用可能となるコホート調査情報、認知機能検査、心理検査、MRI画像データ、生化学的検査データを用いて、認知症の発症と身体的要因、生活習慣、使用医薬品や食習慣との関連性を解析します。

〔研究機関名〕

帝京大学薬学部、帝京大学医学部

〔個人情報の取り扱い〕

取り扱う情報は匿名化されており、個人を特定する情報は含まれていません。

研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

研究責任者：本間光一

所属：帝京大学薬学部病態分子生物学研究室

住所：東京都板橋区加賀 2-11-1 TEL:03-3964-1211(代表)〔内線 49411〕

研究分担者：安原真人(帝京大学薬学部)、斉藤史明(帝京大学医学部)、青木直哉(帝京大学薬学部)